

星屑

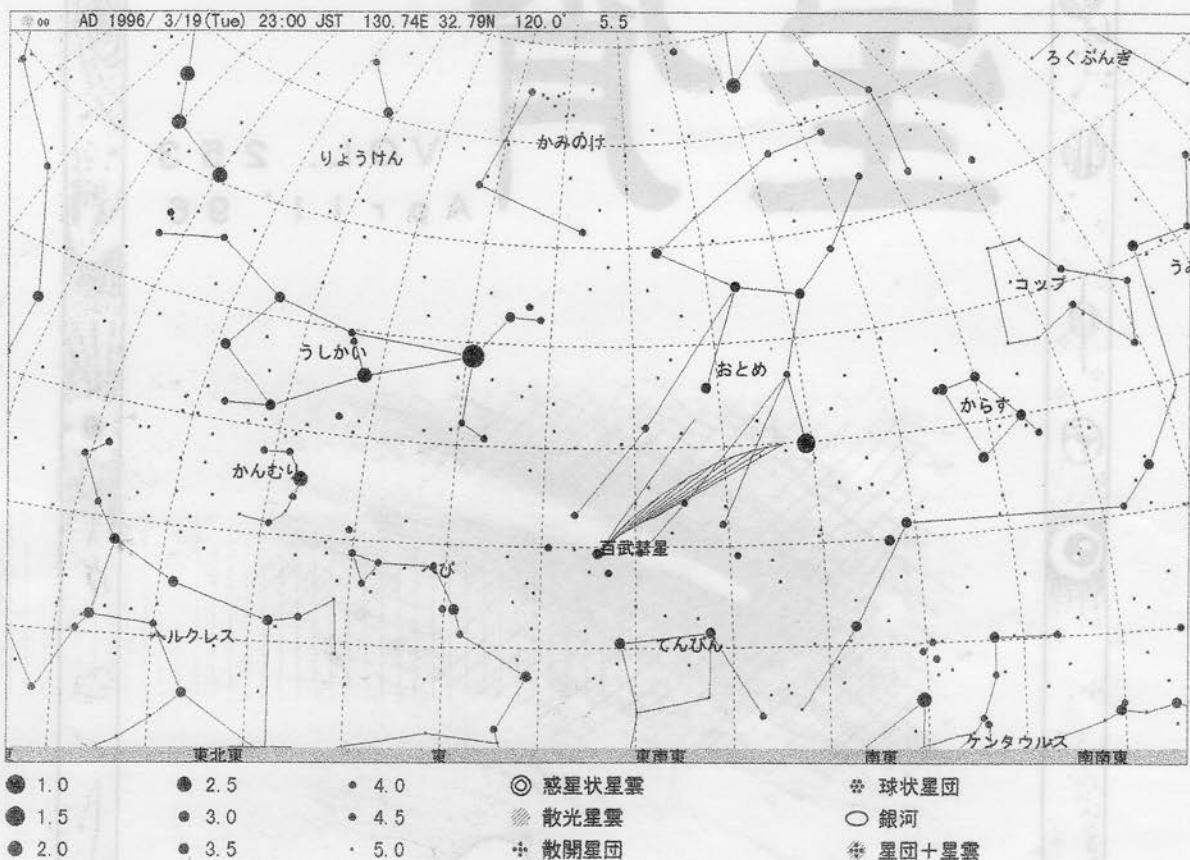
VOL. 253
April '96



熊本県民天文台

巨大彗星出現！！

まずはステラで再現した予想図です。こんなに見える百武彗星、楽しみ楽しみ。



見ました？ この、巨大彗星。

えっ、まだ見ていない！！

なんで、なんで見てないの？

というわけで・・・

大観測会を開催します

カメラで写真撮影するもよし、12.5cmの双眼鏡で彗星を眺めるもよし、

はたまた、41cm望遠鏡でコマを堪能するもよし。

ぜひ、ご参加頂きたい価値ある一品・・・観測会です。

左の図を見て下さい。とっても綺麗な彗星ですね。カラーでお見せできないのが残念です。本当に、はい。

カラーで見たい方、まだ彗星を見たことのない方来ませんか、熊本県民天文台へ

あの、ハレー彗星から10年ぶり

の、巨大彗星です。しかも、あの、ハレー彗星よりも、見やすい！！明るい！！
それでは、観測会の日程です。どちらも熊本県民天文台にて開催いたします。

百武彗星観測会日程表

1回目 1996年3月19日(火) 21:00~23:00

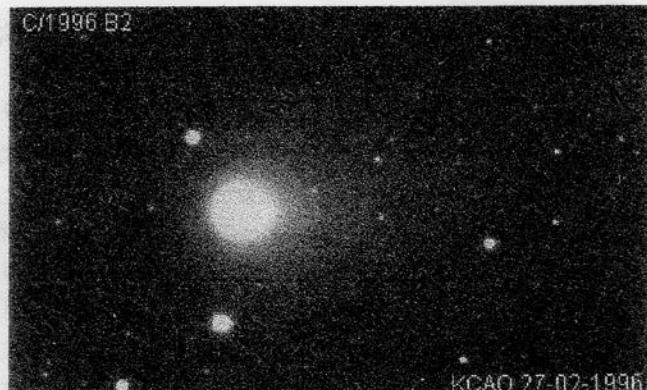
春分の日の前の日です。遅くなっても大丈夫、しかも新月。

2回目 1996年3月22日(金) 21:00~23:00

金曜ですが、天気のサイクルを考えて決定いたしました。

この完璧なまでの日程。ふつふつふ、これで絶対見れますヨ。

右の画像は、2月27日



に撮影されたものです。

どうですか、これがもつ
とでっかくなるのです。

今から楽しみです。

詳しい資料は、下記に示
しますので、参考にして
下さい。最新版です。

某雑誌よりも早い！！

◎C/1996 B2の軌道です 計算は、中野主一氏によるものです。

C/1996 B2 (Hyakutake)

T	1996 May 1.41077 TT	Nakano	
q	0.2301926	(2000.0)	P
		Peri. 130.17807	+0.57751484
		Node 188.06032	+0.23069950
e	1.0	Incl. 124.88859	-0.78310558
			-0.58826274
From 229 observations 1996 Jan. 1-Feb. 24.			

シリウスよりも輝け！

第三話 ルナティック・ラヴ すまいりい しゅどう

その日、部屋の窓から月を見ていた。夜の月は冷たく銀色に輝いていたが、完全ではなく、まだ少し欠けていた。

あれから、白石めぐみと二度目の出会いを果してからもう一週間が過ぎていた。あの時、彼女は僕のために涙を流してくれた。そしてその涙は今まで以上に彼女を美しく見せ、僕の心をとらえて放さなかった。日増しに募るもう一度逢いたいという想いとは裏腹に、実際のところ彼女の勤め先に押しかけるような真似でもしなければその姿を目にはねなかつた。しかし、彼女とまったく接点が無いというわけではなかつた。彼女と二度目に逢ったあの時、実はもう一人連れがいたことは覚えていたのだが、岩永の話によると、その女性は熊大の生徒だったというのだ。そのため、ここ数日は大学へ行く度その女性を探していたのだが、広い学内で人を探すことが困難であることは間違ひなく、小さな希望は諦めへと変わりつつあつた。

数日後、夜空には満月を過ぎ、また少し欠け始めた月があつた。

バイトから帰る途中で、コンビニエンスストアのガラス越しに見覚えのある人影が目に映つた。通り過ぎようとして慌てて引き返すと、そこには探していたその人の姿があつた。夢中で駆け寄り気が付くと、僕は彼女の後ろに立っていた。不思議と迷いはなかつた。肩を軽く叩き彼女が振り返ると、「間違ってたらゴメン、この前、城南の天文台に来なかつた？」と声をかけた。しかし、彼女は困惑の表情でこちらをみていた。『…しまつた、人違いだ。』そう思つて、おもわず自分の額に手を当てる。その仕草で何かを思い出したらしく、急に彼女の表情は一変した。そして、「あっ、おでこはもう大丈夫ですか？」と言って、口元に笑みを浮かべた。…人違いではなかつた。彼女の名前は北原共恵といった。白石めぐみと彼女は高校のとき同じクラブで知り合つた二つ下の後輩であったが、彼女は一浪して大学へ入つたので今は三年生ということだった。そうして彼女と話しているうちに、また天文台に行きたいといつたので、その時は連絡してほしいと自分の電話番号を書いた紙を彼女に渡した。

日が暮れて空が紫色になり、銀色の月がまた昇ろうとしていた。

部屋に電話のベルが鳴り響いた。受話器を取ると、北原共恵の声がした。そして前に約束したとおり、彼女を天文台へ連れて行くことになった。その日、天文台は運営日ではなかつたのだが、岩永に事情を説明して天文台の鍵を借りると、二人、夜の城南へと向かつた。

誰もいない天文台は部屋の中も寒々としていて、一度温かいこたつの中に入ると星を見るのもおづくうになつた。そしてそれは張り切つてここへ来た彼女も同じようだつた。それからコーヒーを飲みながら、時間を忘れて彼女と話した。しかし何時間経つても、肝心な白石めぐみのことを聞き出すことができずにもどかしさを覚えはじめた。すると、彼女の口から、

「この間、私といっしょにここに来た白石先輩ね、すっごい優しい人なのよ。私がね、浪人してる時にね、いつも励ましてくれたり、遊んでくれたりしたんだよ。」という話がもれだした。「ああ、あのときいいだったよね」と僕が白々しく答えると、彼女の機嫌が少し悪くなつたようだった。しかしそのことはあまり気にせず「白石めぐみさんてどんな人なの?」と続けて聞くと、「うーん、高校のころはかなり人気があったよ。」と言った後、彼女は少し伏し目がちになって、「そのころ私が好きだった先輩も、白石先輩のことが好きだったし。」と溜め息を漏らした。答える術もなく黙っていると、彼女はしばらくして顔を上げ、「沢木君も、白石先輩のことが気になる?」と言い、自分の方に身を寄せて來た。彼女のその瞳の奥には女人の情念の波が大きく揺らいでいた。僕の心はその波に押し流され、木の葉のようにゆらゆらと浮かんでいた。

そして、始めにくちづけをして來たのは彼女の方だった。その次は僕が彼女を抱きしめてから、二人折り重なつて唇を重ねた。そして長い時間が流れた。

あくる日、鍵を返しに岩永の家へ向かった。鍵を渡したとき岩永が何か言いたそうな顔をしていたのだが、僕はわざと気付かない振りをしてその場を立ち去った。

月は光り輝き、完全な満月になろうとしていた。

自分のしていることがだんだん分らなくなつていて、共恵が自分の本当に好きな人ではないことすら忘れてしまいそうだった。流されていることに気付かないわけではなかつたが、むしろその流れから出ようとしない自分が分らなかつた。しかし、共恵はそんな僕の心を本当は見抜いていた。見抜いていたからこそ、あんな事を言ったのだ。「ねえ、本当は、白石先輩のことすごく好きなんでしょ?」「先輩なんかやめて私にしなよ。」「私、知ってるのよ。今、先輩不倫してるんだから。」「それに、昔だって男の人と…」

そこまで話すと、共恵は二度と話すことのない死体へと変わり果てていて、僕は冷たくなつた智恵の首を強く握り締めていた。

今僕は白石めぐみの住むアパートの前にいる。ここからだと彼女の部屋がよく見える。先程、彼女の勤める保育園に行き、園児たちが帰るのを見送つた後、帰宅する彼女を追つてここまで來た。共恵の話が本当なのか、僕は知りたかった。そして僕が彼女の部屋に向かつて足を踏み出そうとしたとき、彼女の部屋の前に男の影が見えた。彼女がその男を迎えるとドアが静かに閉まつた。

深い虚脱感が僕を襲つてきた。何もかも失つたようだった。僕は近くにあった鉄パイプを手にとると、彼女の部屋の前に行き、ドアを強くノックした。激しくドアをノックされ、彼女は少し恐ろしくなり、男に出てもらうように頼んだ。そして、男がドアを開けた瞬間、鈍い音とともに男は後ろへ倒れた。彼女は声も出せずに、部屋の隅へと僕に追いやられた。その時、彼女の目には大粒の涙が溢れていたが、その涙は、あの時僕のために流してくれた涙ではなかつた…。

窓の外を見ると、完璧な満月が空を照らしていた。

次回は、不思議なきのこを食べて大きくなつた沢木が、セクシーコマンドーで和田あきこ相手に大暴れするお話だよ。おたのしみに。

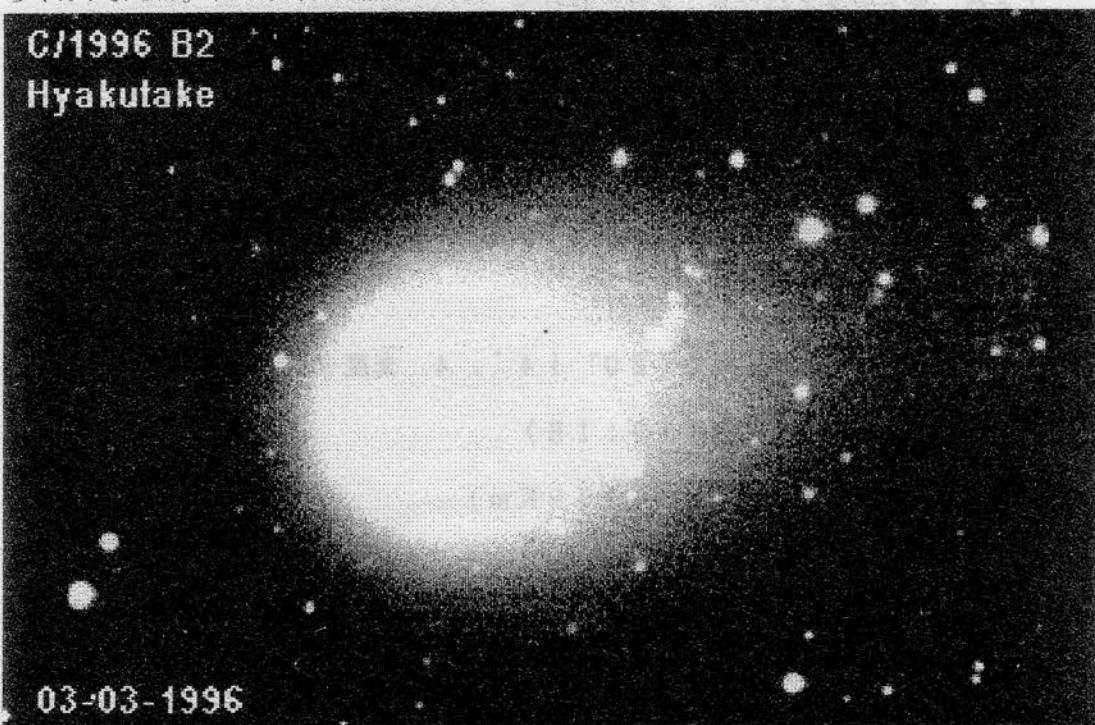
☆ C/1996 B2 (Hyakutake) 下の画像は、1996年3月3日 41cm+CCD 2分露出
3月はいよいよ 1996 B2 百武彗星が地球に接近します。現時点（3/5）で既 6等級の光度
となっています。尾も眼視で 1度以上発生しています。

3月 19日と 23日に KCAO ではこの彗星の観測会を開催しますので、41cm や双眼鏡で観測
できます。まだ、天文台にきたことのない方、この機会に天文台で観測して見ませんか。

ところで、このように元気な彗星は 41cm+CCD では大きすぎ・明るいすぎでかえっておもし
ろくありません。こんな時は短焦点が必要・・・急遽製作にかかっています。

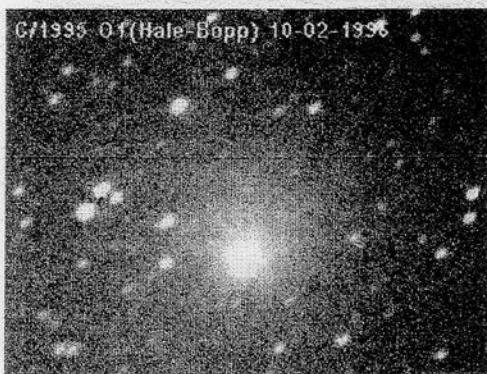
C/1996 B2

Hyakutake



03-03-1996

C/1995 O1(Hale-Bopp) 10-02-1996



☆ C/1995 O1 (Hale-Bopp)

今世紀最大級の彗星と評判のこの彗星がいよいよ
明け方の空に姿を見せてきました。この画像は、
2月 10 日朝の姿です。超低空なので、星像が大
きく大気差で流れています。

さて、気になる光度ですが、予報光度より明るく
既に 8等級になっています。北に扇形にコマが広
がり活発な彗星であることを示しています。これで
まだ木星より遠くにいるのですから・・・来春の近
日点通過時の光度はどうなるのでしょうか？こんな彗
星に巡り会える私たちは幸運なのでしょうねえ。



C/1996 B1 (Szczepanski) 10-02-1996

☆ C/1996 B1 (Szczepanski)

この星は、春の星座で恒星の少ないところを移動しています。小さな集光部と拡散した大きなコマが特徴で目立つ尾は見あたりません。

近似点を 2 月上旬に通過しましたが、地球に近いので、8 等程度の光度にあまり変化はありません。41cm の眼視観測では非常に拡散して見えますが、CCD では小さな集光が目立ち、ずいぶんと違っています。眼視観測と CCD 観測では光度が違うといわれていますが、光度だけではなく見かけの姿も違っているのですね。

☆ C/1995 Y1 (Hyakutake)

この星は 2 月下旬に近日点を通過しました。しかし、形状に変化はほとんど見られませんでした。光度も 8 等前後で大きな変化はありません。この後彗星は徐々に暗くなっていくでしょう。

この画像は、2 月 10 日に撮像したのですが、銀河の中で微光星がたくさん写っています。CCD による彗星の観測では、位置観測がもっとも手頃なのですが、このように微光星の多いところは苦手な場所です。理由はいわなくとも、おわかりですよね。

このときの眼視光度は 8.1 等でした。

☆ 45P/Honda-Mrkos - Padjusakova

館林の小島氏が東天にまわった本田・ムルコス - パジュサコバ彗星の核付近に奇妙な尾を観測しました。1 月 29 日から 2 月 4 日にかけての CCD 画像からです。同じ頃に KCAO で観測していませんか?との問い合わせがありました。1 月 27 日と 2 月 10 日の間は観測がありません。なぜって、このころは満月前後で観測はお休みだったのです。天気も悪かった・・・。2 月 10 日の左の画像では、2 分露出中の動きが線になって分かります。

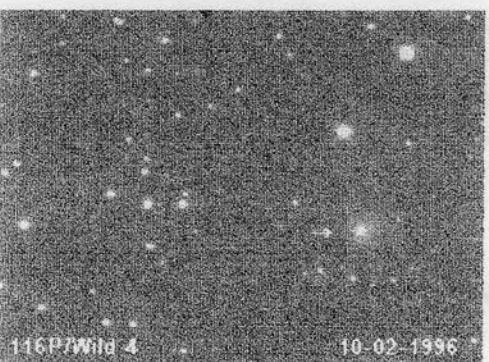
☆ 116P Wild 4

この画像も 2 月 10 日に写したものですが、小さな彗星ですが、一人前に北西に尾を引いています。光度は 13 等です。

この彗星にとっては今回が初回帰になりますが、20.7 等という暗い時の 1994 年に SPACEWATCH 望遠鏡で検出されていました。近日点通過は 8 月末ですが、その頃は太陽に近く位置して観測条件は良くありません。ですから、今が観測好機といえ星です。集光が強くて良く輝くコマを持つこの星は観測しやすい星といえます。



45P/Honda-Mrkos - Padjusakova 10-02-1996



116P/Wild 4 10-02-1996

昨年から「今、彗星元氣の素を太陽が振りまいているんだ」と彗星観測仲間にいって笑われていましたが、「なんだか信じたくなってきた」といわれる今日この頃の彗星界です。

大彗星の出現なるか!!と、騒がれておりますが、如何なることやら。何はともあれ、嬉しいじゃあーりませんか。観測会を企画しましたので、是非是非見に来てネ。

☆ 4月の天文現象＆行事 ☆

- 1日 金星が東方最大離角 ($45^{\circ} 58'$) . 1 光度 -4.4 等 09:47
- 4日 満月 (09:07)
- 11日 月の距離が最近 (369911Km)
下弦 (08:36)
- 13日 ※トークアバウト 20:00~
- 14日 月と小惑星ジュノが最接近 ($01^{\circ} 38'$) . 45
- 17日 春の土用 (02:31)
- 18日 新月 (07:49)
火星が最遠 (2.3853773天文单位)
- 20日 穂雨 (04:10)
- 23日 水星が東方最大離角 ($20^{\circ} 14'$) . 4 光度 +0.3 度 16:48
- 24日 ふたご座入星の食 (19:16)
- 25日 月の距離が最遠 (404378Km)
- 26日 上弦 (05:40) かに座α星の食 (21:36)

※1月からトークアバウトの開催曜日が変更になっております。毎月第2土曜日になります。運営委員の方、参加しやすいと思いますので、是非お越し下さい。

※※事務局が博物館から天文台へ変更になっております。郵便物等は天文台が各担当者へ送るよう宜しくお願ひ致します。

熊本県民天文台機関誌 「星屑」 1996年 4月号 通巻253号

発行所 熊本県民天文台事務局 TEL 861-42

熊本県下益城郡城南町塚原古墳公園内 熊本県民天文台

TEL 0964-28-6060

振替口座 01980-0-24463

熊本県民天文台事務局 担当 中尾 富作